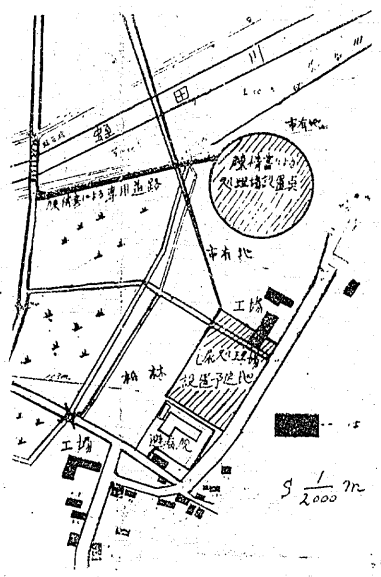
常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電(代表)2104番
2105番
製本大貞
平市田町
電話 本館 四九一八
別館 四九一七八

建てる場所替える

勿来のし尿処理場　部落民ら挙って反対

「観光地にし尿処理場を設置するのは環境衛生上からもふさわしくない」として反対陳情を出していた勿来市錦町字須賀部落と勿来市関田部落、鎗馬部落、渚台部落、蛭田部落民約三百五十人は勿来市の理事者側に対し〝決定したし尿処理場の敷地から北方に二百メートル移転してほしい〟と根強い陳情をくり返している。理事者はこれについて、議会ならびに福島県都市計画審議会委員などが決定しておりこの決定にもとづいて建設すること一歩も引かない。この問題は去る六月ごろから紛糾化し次第に深刻さをましてきたものであるが、当局側の強腰にふんがいする部落民の中には金等理を頼んで来ても当局案を阻止するとふんまんをぶちまけているものもあり、更に九日には市役所前にむしがすとみたわけでもあるまいが、代表者が直接原生省に陳情するなど相当ねばり強いところをみせているので一波乱は避けられないとみるむきが多分にある。



勿来市ではし尿処理場を建設する案を昭和三十三年ごろに立て準備を進めていたが、赤津市長に改選された昭和三十四年五月以降し尿処理場の建設案が具体化した。

今年三月の議会においても工事費の予算を獲得している。建設予定地の勿来市錦町字須賀八番地地内の住宅街に建設予定地として六万六千百二十平方米を測量設計した土地問題なども予想外にスムースに進んでいよいよ着工となり、長（出版は市の建設予定地＝下部と部落民がのぞむ建設地＝上部まる印み＝）

市当局　議会も認む最適地
部落民　住宅街に近すぎる

勿来のし尿処理場の建設反対の陳情団のいい分は❶あまりにも住宅街に接近した土地に建設する。❷理事者側は感情のうえに測量を決定してしまった。❸付近にある鉄工場の敷地が三分の一し尿処理場にかかるが、その補償は何一つしない。死活問題である。❹決定地が実現した場合国庫補助が該当にならないから同地の同審地にも移転出来ないとうそぶいている理事者の態度は住民を軽視している。などをあげている。

これについて理事者側はつぎのように説明している。議会、福島県都市計画審議会委員などが、この土地を認めたのは交通が非常によく、地盤もよい。この敷地は し尿処理場を建設するのに最も好条件のそろったところなので、どうしてもこの土地に建設する。今の処理場はまったく完全なものに出来ており、臭みがあるとか衛生的なところは一つもない、完成のあかつきには処理場一帯を緑園にする計画でいる。近日、反対陳情者の一行を連れて先進地の処理場視察に行きたいとぞえている。また渡辺鉄工所の敷地にかからないようにして建設することになっている。ということだったしかし双方ともそうとう強腹しているので、今後どう発展とのような展望があるか注視されている。なおなご市議会議員の中にも部落に同情的な見方もあり今後の動きは注目される。

塩ザケお土産げに
北洋から独航船帰る

四倉港所属第二福寿丸（五十四トン）＝宮丸宏之二十二歳の中部サケ・マス延縄船が去る五日から続々、大漁旗をひるがえしながら頭領らは元気な顔港に帰港、船主、家族の温かい出迎えを受けた。

獲場は主として北緯四二度一五分から四〇分と東経一五九度二〇分にかけた海域で操業、各船ともに北海道釧路港を根拠に三航海から四航海のサケ・マスの水揚げと漁獲したもので、ことしは例年に比べて白サケ・銀サケが多く、マスの漁は少なかった七月十五日の盛漁日いっぱいまで操業、みやげ漁のサケ・マス約千尾ずつ積んで帰ってきた。

ことしは漁が少なかったが、水揚げの値段が良く最高水揚げ一尾で三千五百円の記録ぎで船主側ではヒビス飯である。一方北洋の独航独航船は余り水揚げがないようだが、それでも例年通りの漁獲予定量として正確な予想外にスムースに進んでいよいよ着工となり、長（出版は市の建設予定地＝下部と部落民がのぞむ建設地＝上部まる印み＝）

富沢には懲役一年
手塚一年二月の判決

好間村北好間三反田四二七六番村、農業沢盛雄（三）同村北好間字樋木平目原手塚利光（三）の二人にかかる恐喝、窃盗、傷害、詐欺罪公判は十日午後から地裁平支部において裁判官、柔名検事、秋元、真木両弁護人立合いで開かれ、富沢に懲役二年（求刑二年六月）手塚に同一年二月同一年六月の判決言渡しがあった。富沢は三年十二月十七日（うち一年二月）手塚は三年十四年六月十四日相当を恐かつ、強盗など六百四十四日相当の罪で起訴されていたが、昨年十月四日午後八時頃好間村上好間の大平電業株式会社好間作業所前県道舗水路現場で同僚作業員、佐川久由さんに依頼して他同様九件の詐欺を働いていた。手塚は三十四年六月二日夜八時ごろ富沢四人と共謀で好間村のいい食堂営繕サダさんをおどかし酒など六百四十四相当を恐かつしたほか三十四年八月四日午後八時頃好間村上好間の大平電業株式会社好間作業所前県道舗水路現場で同僚作業員、佐川久由さんに依頼して酒を出せといって断わられるや手塚で酒を出せといって断わられるや友だちに出ろかみ、させるのかとおどかし、ビール、酒等六百六十四相当をかっぱらい、恐喝、暴行、傷害罪公判は十日午後から地裁平支部において裁判官、柔名検事、秋元、真木両弁護人立合いで開かれ、富沢に懲役二年（求刑二年六月）手塚に同一年二月同一年六月の判決言渡しがあった。富沢は三年十二月十七日（うち一年二月）手塚は三年十四年六月十四日相当を恐かつ、強盗など六百四十四相当の罪で起訴されていたが、昨年十月四日午後八時頃好間村上好間の大平電業株式会社好間作業所前県道舗水路現場で同僚作業員、佐川久由さんに依頼して酒を出せといって断わられるや友だちに出ろかみ、させるのかとおどかし、ビール、酒等六百六十四相当をかっぱらい、恐喝、暴行、傷害罪公判は十日午後から地裁平支部において裁判官、柔名検事、秋元、真木両弁護人立合いで開かれ、富沢に懲役二年（求刑二年六月）手塚に同一年二月同一年六月の判決言渡しがあった。富沢は三年十二月十七日（うち一年二月）手塚は三年十四年六月十四日相当を恐かつ、強盗など六百四十四相当の罪で起訴されていたが、昨年十月四日午後八時頃好間村上好間の大平電業株式会社好間作業所前県道舗水路現場で同僚作業員、佐川久由さんに依頼して

（写真はみやげのサケ・マス＝四倉港魚市場で）

会長に志賀(市)氏(平)
石城農委一年半交替で

石城地方農業委員会連合会総会は九日県事務所で開き、役員の選出が会長に就任することになった。新役員は次のとおり。

▽会長＝志賀重右ヱ門（平市）▽副会長＝鈴木栄（勿来）佐久山保三郎（四倉）

磐城で運転手64人処分

磐城署は県公安委員会が決めた自動車運転免許などの行政処分を執行した。最高八十五日から最低五日間の運転停止処分で六十四人が処分された。三十日以上の処分者は次のとおり。

▽八十五日＝根本幾三郎上町▽七十五日＝吉田好吉白田辺字渡辺、根本幸吉松小路三十平▽六十日＝江尻栄二（三七）下川字宿、遠藤照久三島林ノ上▽六十日＝岡部正（三七）米鄙字大平、高萩良和三生苗字西神▽四十五日＝吉原忠雄（三七）下川字宿、遠藤照久三島林ノ上▽六十日＝岡部正（三七）米鄙字大平、高萩良和三生苗字西神▽四十

常磐毎日新聞
（第三種郵便物認可）定価一カ月100円・一部5円

増加する少年犯罪

平署で問題少年白書

凶悪粗暴化の傾向示す

少年の犯罪は年々増加・大きな社会問題となり、その対策が強く望まれているが、平署ではこのほど三十五年上半期（一月―六月）における「問題少年の白書」をまとめた。この白書は犯罪、触法、ぐ犯の三種に分けられているが、まず犯罪少年についてみると昨年より十三人増加した前十八人にのぼった。この職種別では昨年の無職者から有職者が多くなり、年令も低下、特色としては凶悪粗暴化、知能的になってきたことがあげられ、性的犯罪が増加したことは大きく注目されているほか、町から農村少年に移行していることが指摘されている。以下白書をみてみる。

「犯罪者」

◆補導状況＝犯罪少年についてみると総数では前十八人で昨年より十三人増え、また月平均では一九・六人が補導されている。月別では花見をひかえた四月が一番多く全体の約四十%に当る四十六人、次いで夏季に入る六月の二十一人となっている。

◆職業別＝中学生は二十四人、高校生は昨年の三人から急増した二十五人有職者は十八人増えた四十四人無職者は逆に二十人減少した二十五人となっている。このように昨年は四十五人の無職者を抑圧に中学生、有職者、高校生となっていたものが、ことしは有職者四十四人を抑圧に無職者、高校生、中学生と二変した。また年令層についてみると全般的にはその年令も低下しており、十四才から十六才が二十九人（四人減）十六才から十八才まで三十一人（五人増）十八才以上二十才五十八人（十二人増）となった。

◆罪種別＝凶悪粗暴化、知能的になり、性的犯罪が増加したことが目立っており、窃盗四十五人婦女暴行二十六人、傷害十五人、詐欺二十八人、強盗と続く各一人、その他十九人という数字を示している。

「触法少年」

◆補導状況＝触法少年には十四才未満で刑罰法令にふれる行為をしたもので、昨年の上半期には二十二人だったものが、本年は三十一人で九人増えた。月平均では五・一人が補導されている。なお未就学児は昨年の二人に対し一人もない。小学生では五人多い十九人、中学生は十二人で倍の数字を示している。

◆罪種別＝非行内容については前年と窃盗が依然として首位を占めて二十八人、ついで傷害三人となっているが、これは粗暴化、知能化しているためか前年の三人から十六人減少粗暴化、知能化しているためか前年の三人から十六人減少粗暴化、知能化しているためか前年の三人から十六人減少